

【令和3年度 第2回大山町総合教育会議】 議事録

日時 : 令和3年8月24日(火) 午後1時30分～3時
場所 : 名和公民館 第1会議室
出席委員 : 向陽寛孝、池嶋順子、髙山洋美、湊谷紀子
欠席委員 : なし
教育長 : 鷲見寛幸
その他の出席者 : 教育次長(前田)、幼児・学校教育課長(田中)、社会教育課長(西尾)、
財務課長(井上)、こども課長(角田)、幼児・学校教育課 学校教育室
長(浦木)、幼児・学校教育課 担当者(当別当)
参観人 : 3人

日 程

1. 開会宣言

教育長

ただいまから令和3年度 第2回大山町総合教育会議を開会します。日程については、配布資料のとおりです。

2. あいさつ

町長

本日の議題といたしましては、少人数学級について皆様からご議論をいただきたいと思えます。令和3年度から小学校の少人数学級の取組が年次的に学年を拡大していく方式で国が進めています。県では以前から、小1プロブレムや中1ギャップの解消に向けて小学校の1.2年生を30人学級、中学校の1年生を33人学級という県独自の事業がありますが、県も国の制度に先駆けて小学校の30人学級を小学校の中で拡大させていく方針を示しています。大山町としましては、協力金は変わりますが県の動きを先取りする形で小学校の全学級、中学校でも少人数学級を推進できないかと検討しています。少人数学級を拡充する事で教育環境が良くなればと考えています。今年度、県の基準以上に少人数学級を推進した学級が大山町にはありますが、効果は出ていると現場や保護者の方からの声を聞いています。大山町では、このような状況を町内全域に広げ全国よりも一歩進んだ教育環境の提供に取り組んでいきたいと考えています。協議事項にはありませんが、その他として、昨年度から町内小中学校の給食費無償化について総合教育会議、定例教育委員会でご議論いただき、教育委員会として給食費無償化を進めていくという事で進めさせていただいています。今年度も予算を議会に示していましたが議会

から少し待ったがかかった状況です。また、町長部局のこども課で、少子化対策の戦略についてまとめかけているところですが、その資料の一つとして子どもが生まれる前から大学を卒業するまで、どういった子育て施策があるのかを一覧でまとめています。こども課だけでなく、いろいろな課と連携をしながら大山町の少子化対策を進めていきたいと思います。今後の大山町の教育環境の向上に努めていきたいと思いますので忌憚のないご意見をお願いいたします。

教育長

中学校では2学期がはじまり、コロナ禍の中で児童・生徒の安全安心を確保するためにどのような取り組みをしたらよいか協議をしています。今日の議題にあります少人数学級について、国の基準、県の基準が令和7年まで段階的に緩和されていきますが時間がかかります。大山町独自の取り組みとして、すぐにでも小学校、中学校に実施していきたい考えです。学年の途中で定員が増えると、今まで2学級だったものが1学級になり、学級、学校全体が落ち着かない、一人ひとりのきめ細かい指導が出来ない等が発生します。GIGAスクール構想で多様な学習に取り組むにしても少人数学級で学習する事により、一層効果が出てくると思います。大山町独自の少人数学級の在り方について皆さんからご意見をいただきたいと思います。今、様々な課題をもった家庭があり、子育ての悩み、経済的困窮による課題、家庭環境の格差による子どもの学力の格差が出る二極化が発生しています。行政としてSSWの相談体制、学校給食費助成等、いろいろな角度から支援を考えていく必要があると考えています。

3. 議事日程の報告

日程第1

会議時間の決定

自 午後1時30分 至 午後3時

日程第2

協議事項 (1) 少人数学級について

教育長

少人数学級について事務局より説明をお願いします。

幼児・学校教育課長

資料1 ページについて、現在の児童生徒数で計算していますので実際には変化がある

かもしれませんが、大山町単独で町内小中学校を30人学級にした場合の令和4年度から令和7年度まで協力金の合計を示しています。令和4年度は1,600万円、令和5年度は1,700万円、令和6年度と7年度は1,000万円の試算をしています。また、鳥取県における新たな少人数学級制が実施された場合、令和5年度から7年度は一部500万円から200万円の協力金が減額になる試算になります。2ページについて、令和3年度の大山町立小中学校児童生徒数の少人数学級の実施状況を色別で協力金を示しています。来年度以降、大山町単独で少人数学級を導入する場合は、中山小学校6年31人、名和小学校4年35人が500万円の協力金の部分になります。3ページについて、参考までに現在の少人数学級の実施状況、町内全小中学校に少人数学級制(30人)を導入した場合、県における新たな学級編成基準が導入された場合の表を載せています。5、6ページについて、県の今後の少人数学級のあり方について(案)を添付しています。

教育長

少人数学級についてご意見、ご質問をおねがいします。

次長

5ページ、6ページの鳥取県の今後の少人数学級のあり方について(案)は決定したものではありません。鳥取県教育委員会が各市町村と議論しながら最終決定していく原案になりますのでご承知おきください。

町長

各市町村長との意見交換とありますが、コロナの関係で大山町では、まだ意見交換は起こっていません。

委員

私は少人数学級にする事は良い考えだと思います。実際に計画訪問に行くと大人数のクラスは落ち着きがなく、学級崩壊するのではと心配になるクラスがありましたが、少人数学級になった事で落ち着きと明るさが戻り、先生にも余裕がうまれています。一人ひとりの子どもに目が行き届き、安心感にもつながると思います。是非、少人数学級にしていきたいと思います。

委員

勉強もしやすいですし、目が行き届きやすい。大賛成です。

委員

大山町の教育の方向は間違っていないと思います。費用が工面できるのであれば、どの学年の子どもにとっても大切な一年間ですので、必要な力をつけるためにも少人数学級の実現をお願いしたいと思います。子ども達も保護者も先生も元気で穏やかな気持ちで前に進んでいける形を作っていけたらと思います。

委員

少人数学級は子ども達にしっかり目が行き届くので是非やっていただきたいと思います。心配なのは教職員の数を確保できるか、また、同じ学年でも先生によって教え方に差がでないように、学校で先生の指導力を均等化していただきたいと思います。

教育長

教職員の確保について県外からも優秀な教員の確保を進めてほしいと県の教育委員会に要望を出しています。

教育長

学級担任によつての格差解消について次長から説明をお願いします。

次長

今、県と学級担任制ではなく教科担任制の導入等、弾力的な運用ができるように議論しているところです。

教育長

県費負担の協力金の予算について財政的にどうでしょうか。

町長

大山町独自で町内小中学校全部を少人数学級にした場合、鳥取県においての少人数制が実施された場合、いずれの金額にしましても、今の町の財政全体を考えると十分に出していける予算だと考えています。

財務課長

大山町は依存財源といって町独自の収入は少ないです。昨年度の決算は130億円位あり4分の3は国、県からの収入になります。一概には言えませんが、今のままの収入の見込みがあれば払っていける金額です。

町長

交付税に全国の町村は依存しています。この金額が国のさじ加減一つで大幅に変わる

ことはないと思いますが不安定なところがあります。また、教員の人数の懸念はあると思いますが、大山町の規模でいえば増える教員数も限られていますので懸念すべき数ではないと考えています。

委員

以前は教員採用が少ないために高校の先生、進学が先生が教員を勧めないという話をききました。そういったところから変えていかないといけない。

教育長

教員の魅力の発信が必要です。

委員

先生の働き方の改善をしていくと教員希望者が増えると思います。

委員

鳥取大学に教育学部がなくなった影響は大きいと思います。一つの課題になっていると思います。

教育長

県の教育委員会の協議でも必ずその話題は出ます。

委員

若手の先生とベテランの先生の学力の差で不公平感を感じるのは良くないです。若い先生を丁寧に指導していただき、先生によって学力に差がでないように頑張っていたきたいと思います。

教育長

いろいろな意見をありがとうございました。大山町独自の少人数学級に向けて、県の協力金方式を使いながら推進していく方向性で皆さんの意見をいただきました。町の予算をいただくからには、教育委員会、学校で子ども達に適正な学びを与えていく必要があります。誰一人取り残さない教育を進めていくために少人数学級は非常に有効な手立てだと考えています。大山町独自の少人数学級を進めていただきたいと思います。

(2) その他

教育長

学校給食費助成について町長からお願いします。

町長

昨年度、教育委員会で方針を決めていただいておりますが、方針について変更がないか伺いたいと思います。町長部局としては人口政策の中の少子化対策として子育て世帯の負担軽減を進めていき、出生率の改善を見込んでいきたいと考えています。教育委員の皆さんからは、学校の給食費の徴収の負担の解消、要保護、準要保護の申請漏れ家庭の救済等、給食費を全額無償化することは教育的な学校運営の中でも、福祉的な側面でも効果があるのではないかと意見をいただきました。大山町としても方針は変えていませんが、今後の様子を見ながら進捗があれば皆さんと意見交換をさせていただきたいと思います。

委員

コロナで経済的に困難な家庭、ひとり親家庭等、経済的に苦しい家庭が増えてきているのではないかと思います。安心して産み育てる環境になれば少子化の対策にもなると思います。子どもを育てるのにお金がかかることが負担になっていますので、給食費だけでも中学卒業するまでは親の収入に関わらず食べられる保証があるだけでも気持ちは楽になると思います。

町長

子どもを産み育てれば産み育てるほど家庭に負担がかかる状況であれば出生率は増えません。大山町としましては、選択肢がない義務教育で発生する経済的負担は行政で支援をしていってもいいのではないかと考えています。小中学校の給食費が金額的には家庭の負担が大きいので解消していかなければいけないと考えています。

委員

半額補助なら半額補助、全額補助なら全額補助でずっと継続して頂きたい。全額補助から翌年から半額補助に変更になるのは家計としては予算が立て辛いと思います。全額補助になるならずっと続けてもらえると家庭としてはありがたいと思います。

町長

やるなら継続していきたいと思っています。政策的な側面があるため、私が町長なら必ず続ける方針でやりますが、別の方が町長になった場合に継続される保証はありません。少なくとも私は一度やったらずっと続けるつもりでいます。

委員

基本的に飲んだり食べたりするものは自分で払うのが当たり前だと思っていますが、今はその考えではいけないと思います。ただ、大山町全体の予算を見た中で給食費全額補助を何年続けられるのか心配があります。1年しかできないなら無責任になってしまいます。何かの政策を継続してもらうのが一番良いと思います。教育委員としては保護者負担を減らして安定した家庭で子どもを育てていただきたいと思っています。

町長

現状の財政状況であればということになりますが、余力をもって財政運営をしているので心配がないと考えていますが、国が変わればなくもない話でもありますが現実的ではない話です。そこを懸念してしまうと何も政策ができなくなります。今の財政状況が続けばという前提でいきますと無理がない範囲の施策だと考えています。

財務課長

現在の財政状況が続けば大丈夫です。町長が言われるように、国からもらっている金額が多いので国の政策に左右されてしまうところは懸念するところです。

町長

国の政策に影響されるということで、全国的に市町村で給食費無償化している自治体が増えてきていますので、国や文科省で経済的な視点から給食費無償化の調査をする動きが出てきています。無償化に取り組んでいる市町村や、財政的に無償化できない自治体と手を組んで国の政策として給食無償化の働きかけをすることも必要だと考えています。

委員

先駆けて教育費補助の政策をしていただくと良いと思います。

町長

国に働き掛けるにしても、県に働き掛けるにしても自治体で先駆けてやっていると説得力が得ます。

教育長

継続できるような形で給食費無償化を進めてほしいという意見をいただきました。その他について、大山町のこれからの子育て支援施策（案）について説明をお願いします。

こども課長

先日ありました、町の臨時議会の後の全員協議会で各議員の皆さんにも説明させていただきました「大山町のこれからの子育て支援施策について（案）」につきまして、今後このようなプランで取り組んでいきたいと思っています。こども課だけでなく、関係各課と連携を取りながら子育て施策を進めていきたいと考えています。子育ての周期と支援について項目で分けていますが、関係各課と協議しながら子育て支援施策として今後、文章化等、分かり易い資料にして皆さんにご提示できればと考えています。

教育長

ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

委員

婚活事業はありますか。

町長

婚活事業は観光、企画がやっていますが、広く言えば少子化対策の施策ということで取り組んでもいいのではないかと考えていますが、県が幅広く取り組みを進めていますので、県への登録を進めたほうがいいのではないかと判断で登録料の助成という形で促進をさせていただいています。

教育長

その他、ご意見等ありますか。

委員

教材費購入費助成について、どの程度考えておられますか。

町長

具体的には県が調査をして金額で示されています。想定しているのは小学生については1人当たり年間1万円～2万円、給食費とは別に集金している程度の金額分の補助と考えています。基本的な考え方としては教科書と一緒に学校で購入するようなものを行政側で負担できればと思います。

委員

例えば、ドリルとかテスト等の教材費ですか。

こども課長

そうですね。準要保護、要保護の方に関して教材費は全額補助しています。中学校に

入学する際の制服等も助成の中に入れていかないといけないのかなと考えています。一定に費用が掛かるものが対象になるとと思いますが、今後、教育委員会と協議していきたいと思います。

委員

進めていただけると良いと思います。

教育長

少人数学級、給食費の無償化、大山町のこれからの子育て支援施策について、今週の金曜日にあります定例教育委員会でご意見等ありましたらお願いいたします。

町長

本日、皆さんからいただきましたご意見をもとに町政を進めていきたいと思っています。本日はありがとうございました。

4. その他

5. 閉会宣言

午後3時